

# 未来の柏の図書館像を考えるワークショップ 第3回 柏市図書館のあり方(案)の読書会 開催報告

---

柏市教育委員会

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 (ARG)

# 開催概要

---

(日 時) 2018年12月22日 (土) 14:00～16:00

(場 所) アミュゼ柏

(参加者) 15名

(事務局) 生涯学習課 高村課長、橋本副参事、柳川副主幹、川本主任

図書館 小池館長、利光副主幹、後藤副主幹

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 岡本、宮田

(プログラム) ①オリエンテーション・前回の振り返り (20分)

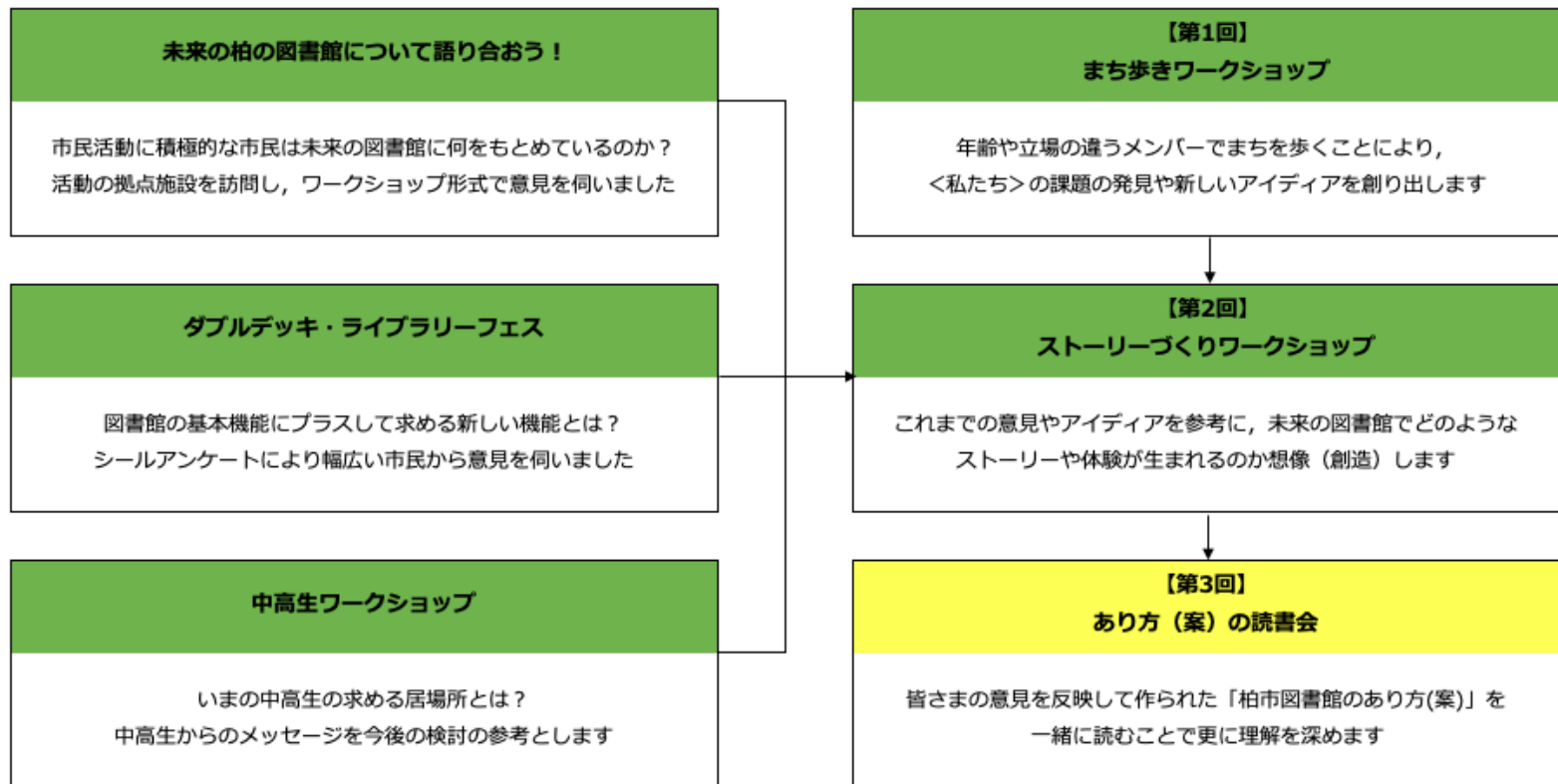
②あり方(案)の説明 (20分)

③パブリックコメントを的確に書くためのアドバイス (15分)

④コメントづくり (45分)

※終了後に茶話会を開催

# 未来の柏の図書館像を考える ワークショップのつながり



# ①オリエンテーション・前回の振り返り

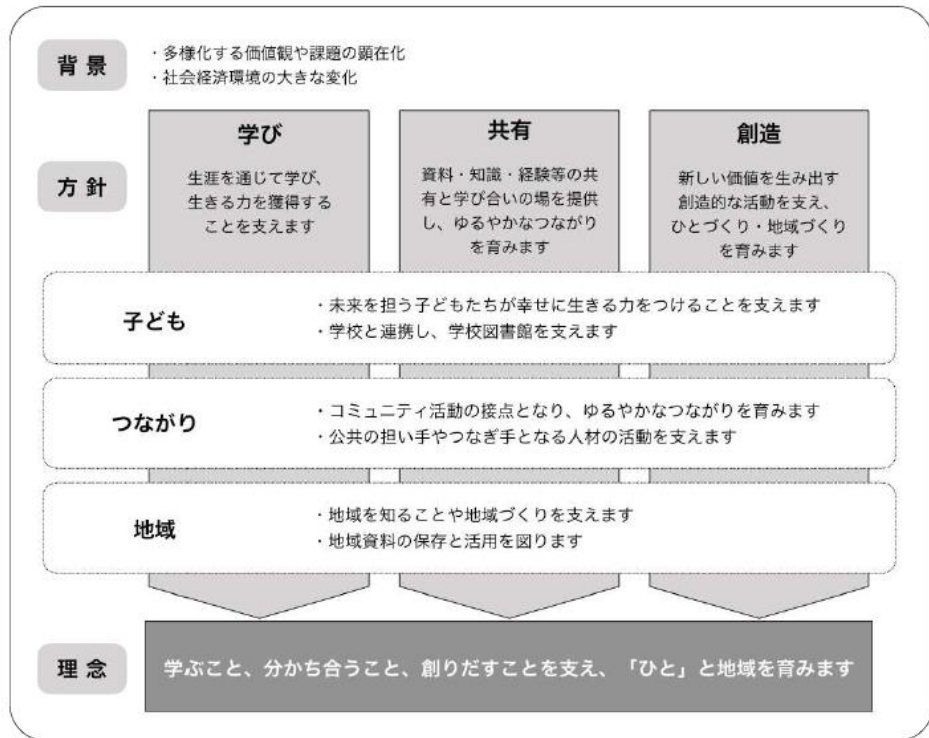
オリエンテーションに続いて、今年度の図書館のあり方の検討過程を振り返りました

- 一部の市民を対象に一方的に行われることが多いヒアリングとは異なり、ワークショップはさまざまな世代や立場の市民が協働・協同によって行われる
- 参加者が持っている固定観念を揺さぶることが大切
- 「未来の柏の図書館について語り合おう！」では、市民活動が活発に行われている場に出向いて、図書館への期待や課題を語ってもらった
- 「柏駅ダブルデッキ・ライブラリーフェス」では、図書館についてより多くの市民に知ってもらうために、人通りの多い屋外で2日間にわたって開催した
- ワークショップでは、中高生には、居場所について話し合ってもらったり、一般参加者には、まち歩きを通して気づいたことからストーリーを組み立て、発表してもらったりした
- 今回の「あり方(案)」は、以上の検討過程を反映しながら改定を重ねてまとめられている



## ②あり方(案)の説明

配布した「柏市図書館のあり方(案)」を読みながら、ポイントの説明を生涯学習課から行いました



# ③パブリックコメントを的確に書くためのアドバイス

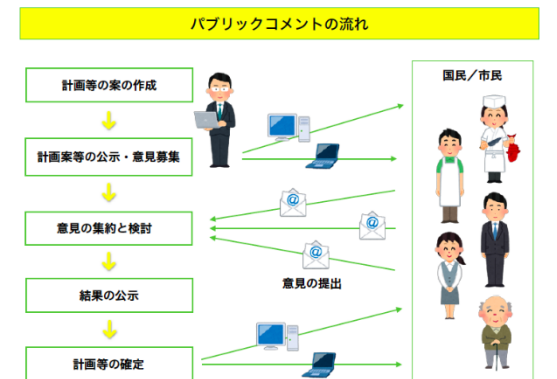
パブリックコメントについての一般的な解説とともに、行政側に伝わりやすいコメントの書き方についてアドバイスをしました

パブリックコメントとは何か

- パブリックコメント制度(意見公募手続制度)
- 行政手続法 意見公募手続等(第38条～第46条)
- 政策形成過程における市民意見の聴取機会
- 柏市は昨年度は10件近くの結果を公表

パブリックコメントの書き方の助言

- 計画等の案や上位計画・関連計画の内容に準拠する
- 賛成・反対のいずれであれ、理由を具体的に示す
- さらなる改善提案の場合、提言的な要素を意識する

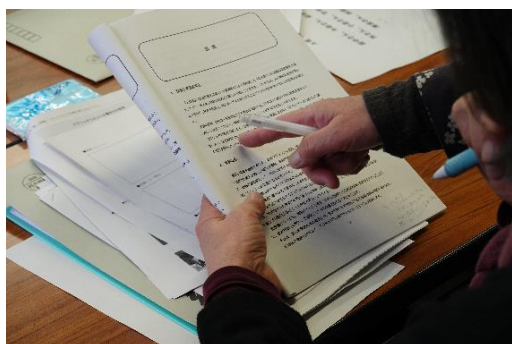




## ④コメントづくり

---

提案したいことを理由や根拠とともに記入するワークシートを使って、柏市の上位計画等を参照しながら、実際にコメントづくりを行いました

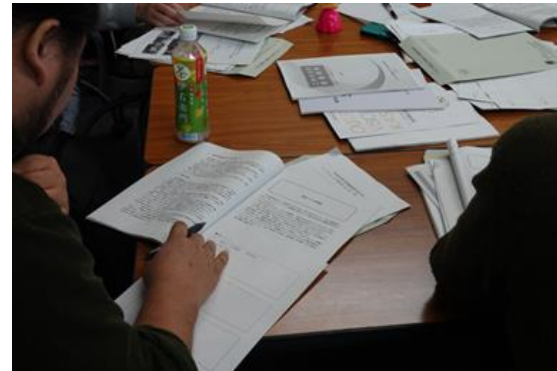


# ④コメントづくり (ワークシート)

■ 提案したいこと:

■ 提案したい理由:

■ 提案の根拠:



①提案したいこと、②提案したい理由、③提案の根拠を記入できるワークシートを利用しました



# 「柏市図書館のあり方(案)」をよりよくするための パブリックコメントの準備ができました！



2018年12月20日～2019年1月21日までパブリックコメントにより市民の皆さまから意見を募集しております。下記のURLの資料を確認いただき、ぜひご意見をお寄せください。

いただきましたご意見については、後日、市の考え方を公表いたします。  
また、案の修正を行い「柏市図書館のあり方」を2月末までに策定する予定です。

「柏市図書館のあり方(案)」にご意見を(パブリックコメント)  
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/280700/p048689.html>

# 茶話会

終了後には茶話会が開催されました。参加者同士の交流のなかから、今後も図書館とかかわる活動を継続できないかとの提案があり、2019年1月26日(土)14:00から図書館本館2階の会議室にて初会合を行うこととなりました。

